

## 2020年度 適性検査型入試BⅠ ～出題傾向と対策～

### I 出題の意図

都立中高一貫校の適性検査問題Ⅰの共通問題に準じています。

### II 出題傾向

国語・作文問題

文章1・文章2と長文が二つ出され、内容を読解、要約して自分の考えをまとめることが求められます。

問題文の内容としては、論説文や随筆などが出されます。

問題数は三問程度で文章1から記述問題が1問、文章2から記述問題が1問出題されます。必ず、問題文の内容を基に自分の意見や考えを（自分の体験などに基づいて）まとめる問題が出題されます。三段落構成にすることや、根拠を述べること、具体例を書くなどの条件が与えられた400字から440字の作文問題となっています。

### III 配点

文章読解問題 20点程度      /      作文問題 40点～60点

### IV 採点基準

文章読解問題

模範解答に準ずる解答には部分点が与えられます。

作文問題

- 減点対象
- ・誤字、脱字がある場合
  - ・字数超過、字数不足
  - ・条件に則っていないもの

### V 得点するための対策

文章の内容・意図を的確に読みこなす読解力と自分の考えを論理的に表現する力が求められます。

読解問題：作者の意図を的確につかむ練習をしましょう。

また、文章中の言葉を使って要約をする練習をしましょう。

作文問題：時間内に自分の意見を文章にまとめる練習をしましょう。

さらに条件にあわせて文章を書けるようにしましょう。

また、誤字・脱字にも注意しましょう。



## 適性検査BⅡ

### 出題構成と配点例

大問3問構成。計20題をめやすに出題します。

### 傾向

★ほとんどの問題が、記述式での解答です。また、計算問題も出題します。

☆自分の考えを文章としてまとめること、短時間で正確に計算することを、よく練習しておきましょう。

★問題は、ほとんどが会話文の形式です。

☆文章の中には、問題に関する重要な内容が含まれおり、正確に読み取る力が必要です。長い文章を読むことになれておきましょう。

### 対策

☆情報を的確に読み取る力が必要です

問題では、さまざまな資料が登場します。(説明文、写真、グラフ、図など)

限られた時間の中で重要な情報を的確に読み取り、何を解答するのかをすばやく判断する練習をしましょう。

☆「なぜ？」を考えましょう

小学校で学習したさまざまな内容が、日常生活にどのように関わっているのかをふまえて出題します。

普段から「なぜ？」と考える習慣をつけましょう。また、「なぜ自分は〇〇と考えたのか」を言葉であらわすようにしましょう。

☆世の中のさまざまな事象に興味を持ちましょう

問題では、最近話題となった出来事を題材として出題します。新聞記事やニュースなどを見て、日本、世界の動きをとらえましょう。

## 2020 年度 中学入試 傾向と対策 適性入試BⅢ

### ～問題傾向～ 大問2問、全 10 問程度出題します。

数理分野からの出題になります。自然現象、数学的なアルゴリズムなど、オーソドックスなテーマを扱います。会話文形式で文章中から問題を発見し、それに伴う計算問題、論述問題を出題します。

### ～問題を解くにあたって～

問題文の中から、答えを導くのにあたって必要な情報を読み取る力が求められます。また、得られた答えについて、なぜそう考えたのかを正しく表現できる文章力が必要です。

### ～いろんな問題を解いて、問題に慣れよう～

数理分野では、法則性に則った現象や結果が出ることはしばしば起こります。実際に作図する、仮定を立てて検証してみるなどといったこと作業を行うことに慣れておきましょう。

### ～普段の学習や、生活の中での発見を大事にしよう～

問題には日常生活で見かけるような現象をテーマに出題される問題も多くあります。また、学校の基本的な学習内容の中に思わぬ事実が隠されていることもあります。そういった現象・事実に興味を持ち、基礎の学習を大切にしましょう。